

LUCA DI MONTEZEMOLO

Chairman of Ferrari (1991- 2014) and Non-Executive Chairman of the Board of Directors of Alitalia

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Topics

- Leadership
- Sports

Luca Cordero di Montezemoloは、FerrariとFIATの両方の会長であり、ヨーロッパで最も有名なビジネスリーダーの一人です。

Di Montezemoloのキャリアは、彼が友人のCristiano Rattazziと一緒にレースをしたGiannini Fiat 500によって始まりました。その後、di MontezemoloはHF Squadra Corseとして知られるLanciaラリーチームに向かった。彼は自動車製造コングロマリットFIATに入社し、1973年に彼はエンツォフェラーリのアシスタントとなり、1974年にはスクーデリアのマネージャーになったフェラーリに移動しました。1975年から1977年にかけて、フェラーリはニキ・ラウダでF1世界選手権で優勝しました。1976年、ディ・モンテゼーモロはすべてのFIATレーシング・アクティビティーのトップに昇格しました。

1980年代を通してdi Montezemoloは、飲料会社Cinzanoのマネージングディレクターや出版会社Itediのディレクターを含む、FIAT帝国の多くの役職を占めました。1982年に、彼はチームアズーラ、イベントに参加する最初のイタリアのヨットクラブのアメリカズカップの挑戦を管理しました。1985年に、彼は1990年ワールドカップイタリアの組織委員会の委員長になりました。

1991年、フィアットのジャンニ・アグネリ会長は、エンツォ・フェラーリの死以来苦勞していたフェラーリのモンテゼモロ会長を任命しました。ディモンテゼモロは、再びF1世界コンストラクターズチャンピオンシップに勝利することを目指しました。Di Montezemoloはすぐにイタリアのチームに変更を加え、コンサルタントとしてNiki Laudaにサインアップし、Claudio Lombardiをチームマネージャに昇格させました。1990年代、彼はフェラーリのロードカー事業を多額の借金から堅実な利益へと復活させました。彼はまた、フェラーリが2005年まで1997年にそれを獲得したときにマセラティの大統領に就任しました。1999年、彼らは1983年以来初めてコンストラクターズチャンピオンシップを獲得しました。

2004年に、di MontezemoloはイタリアのビジネスロビConfindustriaの社長になりました。そして数日後、彼はフェラーリの親会社であるフィアット会長に選出されました。2008年に、di Montezemoloは、2008年から2010年まで主宰したフォーミュラワンチーム協会FOTAを設立しました。委員会はかつては定期的に集まってフォーミュラワンの改善について話し合っていた。

2010年にはフィアット会長を辞任し、2014年には彼の後継者であるフィアット・クライスラーの最高経営責任者（セルジオ・マーチオン）との緊張が高まり、フェラーリの会長を辞任しました。2014年後半にdi MontezemoloはイタリアのナショナルエアラインAlitaliaの会長に任命され、2004年以来、彼はまたLUISSローマの社会問題研究国際協会Guido Carliの総長を務めています。